

(教材第3号様式)

吉田学術教育振興会  
令和6年度 教材活用状況報告書

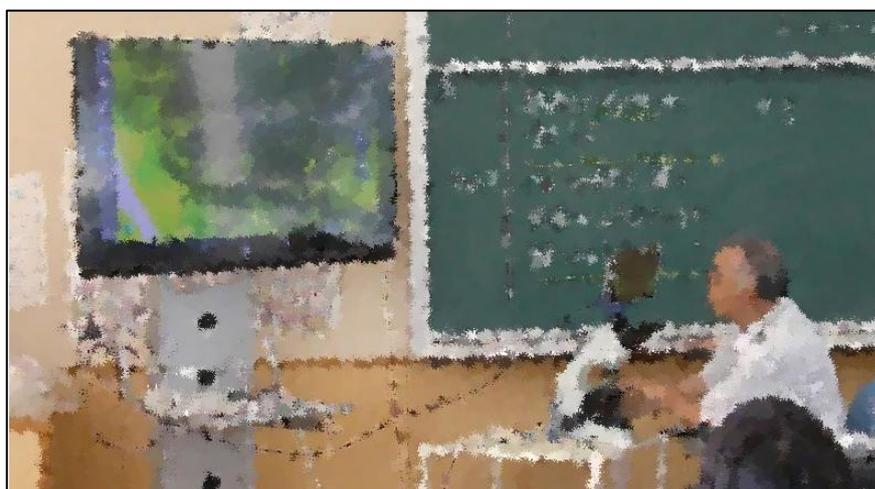
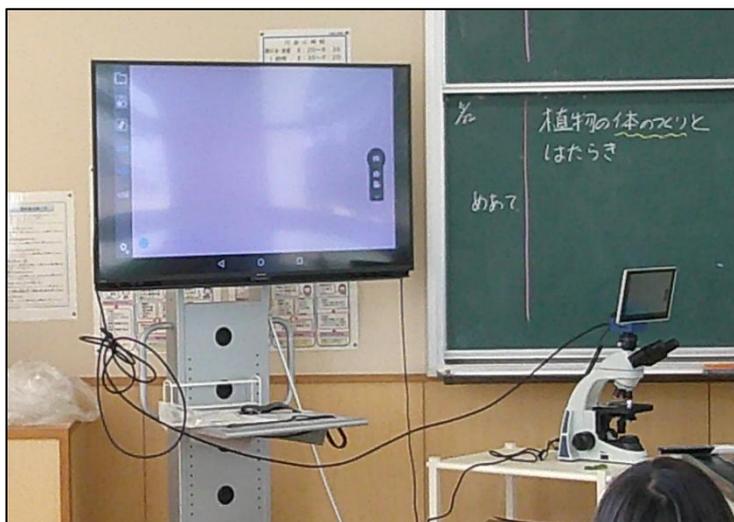
報告日 令和7年7月15日

公益財団法人吉田学術教育振興会  
理事長 山倉 修一 殿

学校名	久留米市立川会小学校
報告者	教頭 荒巻 和彦 (連絡先 TEL : 0943-72-2847)
寄贈品	タッチパネルモニター付生物顕微鏡 YDB-600TE
活用状況 (使用者、使用内容、使用頻度等)	<p>主として理科の学習における観察において、生物のつくりや成り立ち、成長の様子など実感を伴って学習することができるようにしている。以下の単元で使用した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 6年生「植物のからだのつくりとはたらき」</li></ul> <p>今後は、以下の単元でも使用をしていく予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 3年生「植物の育ち方」「こん虫の育ち方」</li><li>・ 4年生「季節と生き物」</li><li>・ 5年生「植物の発芽と成長」「生命のつながり」</li></ul> <p>主たる使用者は、指導者で、画面の提示を行った。観察を通して、児童が見出した気付きや疑問を共有したり、学習のねらいに応じて教員が教材を提示したりして学習をすすめていくようにした。上記単元で20回ほどの使用を行った。</p>
申請当初の 目的達成状況	実感を伴う観察・実験により、児童の学ぶ意欲の向上を図ることができ、当初の目的につなげることができてきていると感じる。
教育的効果について 所見等	ICT機器の利活用が進み、調べることもできるが、その場で観察や実験を行うことで、現物の様子を実感しながら理解することができるので、教育的効果は高いと考える。

## 活用状況の写真等（当日の様子など）

6年生「植物のからだのつくりとはたらき」



今後の活用見通し・課題

計画を立てている単元にて継続的に使用していくとともに、実感を伴う理解につなげていくことができるように学習を進めていく予定である。